



公明党神戸市会議員団を代表して質問する松本修議員

第3回定例市会 平成18年度決算

徹底してムダを廃し 市民福祉を守れ!

平成19年度、神戸市会「第3回定例市会」が9月20日から10月26日までの37日間の日程で開かれ、平成18年度神戸市一般会計・企業会計・特別会計決算等を審議。9月27日の本会議では、公明党神戸市会議員団を代表して、松本修議員（須磨区選出）が質問に立ち、市民生活に密接した問題について市長並びに係当局を質しました。

神戸市では「神戸市いじめ防止対策推進委員会」を平成18年12月に再開して、いじめサポートチーム、スクールカウンセラーの配置などの対策を進めています。

しかし、学校現場でいじめの実態が確実に把握出来ているとは言えず、対策は十分とは言えません。そこで、「いじめは、いじめの側が100%悪い」との

携帯電話を使った新しいいじめの対策を!

いじめの側が100%悪い!

考え方を子ども・大人達に徹底し、学校・家庭・地域などで、子どもが心を打ち明けて話せる環境、相談窓口の更なる充実、また、携帯電話やインターネットを使った新しい形でのいじめ対策などきめ細かな取り組み

セルラーは、相談件数が約2倍になり、いじめに対する役割が高まってきている。更に、きめ細かく対応できるよう努めていく。また、携帯電話やインターネットの普及による誹謗中傷等の書き込みや、有害サイト被害な

どに対し、『生徒指導資料集』を全教員に配布し、道徳・学級活動等での情報モラル等の指導や警察の協力を得て、児童生徒向けの講演会を行っている。保護者に対しても、『子ども携帯10カ条』など親子間の約束ごとの事例やアンケートで啓発を進めている。今後、国や県の動向や連携を視野に入れながら更なる対策を講じていく」と答弁があり、いじめ根絶に向けての決意を述べました。



更なる行財政改善で、敬老パスの継続を!

矢田市長「将来にわたって維持・存続」を明言!

敬老優待乗車制度（敬老パス）は、市内在住の満70歳以上の高齢者が市バス・地下鉄・神戸新交通や民営バスの交通機関を無料（一部所得制限あり）で利用できる市内全線共通のバス方式制度です。

敬老バスをめぐっては、有識者と市民代表による懇話会で、制度

の存続・維持のために検討が行われていた中、一部政党的悪宣伝により、「敬老パスが無くなる」、「乗るたびに100円払わなければならない」といった噂が飛び交い、高齢者を中心に混乱が生じていました。また、民間バスからは「市からの助成金が、市バスには117円、民間バスには29円、81円（バス1回利用）」と民間には少なく不公平な敬

老バス制度は存続が困難」との意見も出されています。そこで、制度を守る立場から本会議で「市の基本方針を積極的に広報するよう求め、利用者の新たな負担を検討する前に、交通事業者間のアンバランスを是正し、まず、市民が納得できる更なる行財政改革に努めるべき」と要求しました。市長は、「積極的に広報・

敬老バスをめぐっては、有識者と市民代表による懇話会で、制度

の存続・維持のために検討が行われていた中、一部政党的悪宣伝により、「敬老パスが無くなる」、「乗るたびに100円払わなければならない」といった噂が飛び交い、高齢者を中心に混乱が生じていました。また、民間バスからは「市からの助成金が、市バスには117円、民間バスには29円、81円（バス1回利用）」と民間には少なく不公平な敬

老バス制度は存続が困難」との意見も出されています。そこで、制度を守る立場から本会議で「市の基本方針を積極的に広報するよう求め、利用者の新たな負担を検討する前に、交通事業者間のアンバランスを是正し、まず、市民が納得できる更なる行財政改革に努めるべき」と要求しました。市長は、「積極的に広報・

広聴に努め、民間バスとの不公平は、今後対応を考えていく。また、人件費の抑制などの確に対応し、更なる行財政改善を進め、本制度を将来にわたって安定的に維持・存続していく」と明言しました。

公明党神戸市会議員団は、今後も、敬老パスの維持・存続のために全力で取り組んでまいります。